

人権教育推進校の取組（白山市立美川中学校 平成29・30年度指定）

1 研究の概要

(1) 研究主題・副題

「伝え合い、認め合う生徒をめざして」
～自ら考え、共に学び、課題を解決する学習を通して～



(2) 人権教育の重点目標

- 【重点①】あらゆる偏見や差別をなくし、互いに尊重し合う望ましい人間関係を築こうとする意識や態度等の実践力を育成する。
- 【重点②】人権尊重の精神を培い、様々な人権課題についての基本的な知識を習得し理解を深める。

2 実践事例

(1) 人権尊重の視点に立った授業づくり ～【重点①】実践力の育成～

① 普遍的な人権意識の育成

・人権教育の推進に当たり、日々の授業における活動の一つひとつが、人権尊重の雰囲気醸成する上で、重要な要素となる。

<p>【本時】 第 二 次 ＜課題＞ 簡単な図を、言葉だけで伝えるためにはどんな工夫をしたらよいか。> ○1回目の説明で、うまく伝わらなかったのはなぜだろうか。 ◎どのように変更したら、わかりやすく説明できるだろうか。</p> <p>まとめ 大きさを具体的に数値で表す。大きさを長さと比較してみる。違いを見つける。何かに例えてみる。 など</p>	<p>○うまく伝わった例と伝わらなかった例を発表させ、それをヒントにして改善した文章を考えさせる。 ○改善した文章を別のペアで説明させる。</p> <p>●整理した情報を分類し、目的や相手を意識して、どのような構成で書くかについて自分の考えをまとめている。 【書く能力】<行動観察・ワークシート></p> <p>※自分だったら、どう説明されたらわかりやすいか考えさせる。 ◎互いの発言を最後まで聴く習慣や誤答を大切にする習慣を身に付けさせる。 ◎自他の学習課題や解決方法、学習の仕方やまとめ方等を振り返って交流する時間を設定し、他者の成果に学ぶとともに、今後の学習課題や方法について選択、決定できる場を工夫する。</p>
--	--

- ア 自己存在感を持たせる支援を工夫する。
- イ 共感的人間関係を育成する支援を工夫する。
- ウ 自己選択、自己決定の場を工夫して設定する。

- 主な発問
- ◎ 深めめの発問
- 指導 ● 評価
- ※ 評価規準に達しない生徒への手立て
- ◎ 人権教育上の配慮

国語科 学習指導案の単元計画の一部

② 学習の見通しをもって粘り強く取り組むための工夫

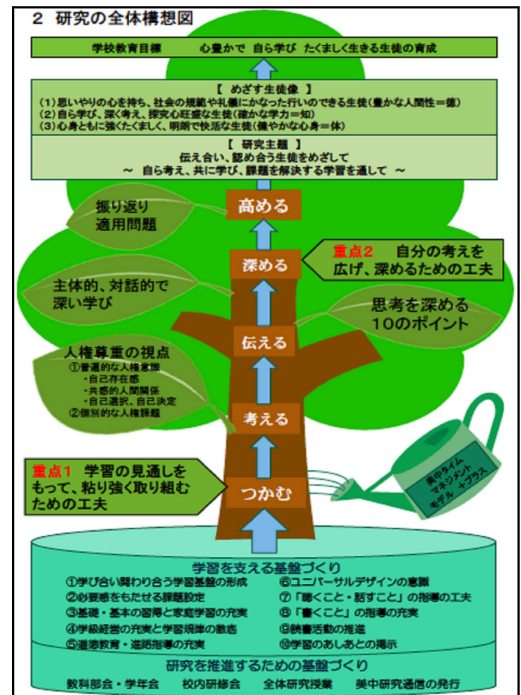
- ・学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返る。
- ・学校行事や教科の授業等において個人目標を決め振り返りをし、達成感を味わわせることで、自尊感情を育てる。

③ 自己の考えを広げ深めるための工夫

- ・身に付けた知識や技能を定着させると共に、物事を多面的に深く理解するために多様な表現を通じて生徒同士や教師と生徒が対話し、深める。
- ・意見を揺さぶる「発問」や「問い返し」をすることで他者の意見を尊重し、思考を広げ深める。

思考を深める10のポイント

1. 発言の根拠を確かめる
「なぜ、そう考えたのか」「なぜ、そう思ったのか」「なぜ、そうえるのか」「なぜ、それを選んだのか」
2. 問題意識を高める
「そのこと何の問題なのか」「どうして～してしまったのか」「～ではないのか」「～してはいけないのか」
3. 判断について吟味する
「その判断はそれでいいのか」「本当にそう思うか」
4. 結果について吟味する
「良いと思っていたのに、なぜこうなってしまったのか」「どうすれば、うまくいったのか」
5. ねらいに迫る
「どうしたらよいか」
6. 体験を引き出す
「自分だったら、どうするか」
7. 別の立場で考える(視点転換)
「～の立場で考えたらどうか」「もっと他の見方はないか」
8. 比べてみる
「同じところはどこか」「違うところはどこか」
9. 変化を問う
「なぜ考えが変わったのか」
10. 全員を巻き込む
「今の意見についてどう思うか」「同じ考えの人は挙手しよう」



研究の全体構想図

(2) 個別的な人権課題への深い理解 ～【重点②】人権課題についての知識の習得と理解～

・人権尊重の精神を培い、様々な人権課題について基本的な知識を習得し、理解を深めた。





<p>ア. 子ども</p>  <p>弁護士による「いじめ」についての講話</p>  <p>人権集会「ええところ」(絵本)の読み聞かせ</p>	<p>イ. 外国人</p>  <p>イギリスポストン町との授業や部活動での交流</p>  <p>3年「国際理解学習」世界の異文化に触れる</p>	<p>ウ. 高齢者</p>  <p>2年室長会/単身の高齢者へXmasカードを贈る</p>	
<p>エ. 障害のある人</p>  <p>1年保健体育科「車椅子バスケット」</p>  <p>(株)LITALICO 社長 人権教育講演会「障害」</p>	<p>オ. インターネット</p>  <p>NTTドコモ・法務局・人権擁護委員「人権教室」いじめや人権侵害</p>	<p>カ. LGBT</p>  <p>2年 性と生の学習会 菜の花助産院助産師 LGBTについての理解</p>	<p>キ. 東日本大震災</p>  <p>避難訓練(地震・津波) 福島県の避難所における人権について考える</p>

(3) 道徳教育・キャリア教育の充実

・道徳教育年間指導計画に人権教育関係資料を明記し、生徒の心に響く教材を活用した。

<p>ア. 道徳の時間(ゲストティーチャーの効果的な活用等)</p>  <p>性同一性障害について 助産師による終末の話</p>  <p>車椅子バスケットボール選手との対話で考えを深める</p>  <p>視覚障害者と盲導犬「ニュースで討論」</p>  <p>道徳の時間の足跡掲示 人・人・人への思いやり</p>	<p>イ. 学級活動(進路)</p>  <p>「ペットボトルの旅」職業調べに発展</p>
---	---

(4) 生徒会活動の充実

<p>図書委員会「みんなががってみんないい」</p>  <p>全校一斉人権関係の本のブックトークと様々な人権課題の関連図書展示</p> 	<p>保健・給食委員会</p>  <p>「ありがとうの花束」感謝を言葉で伝える大切さ</p>	<p>室長会「ピアカウンセリング」</p>  <p>「Laugh card 大作戦」～もつべきものは先輩～</p>	<p>美中祭「美中タイム」</p>  <p>「最強自慢コンテスト」驚きの特技を披露</p>
---	--	--	---

(5) 校内研修会の充実(計画的な外部人材の活用と校内OJTの実施)

・授業改善、生徒指導、道徳教育等、さまざまな角度から授業力向上に努めた。

<p>キャリア教育研修会</p>  <p>金沢工業大学 白木みどり教授による講義・指導助言</p>	<p>人権教育研修会</p>  <p>神野ちどり氏による講義「第3次取りまとめ」等</p>	<p>人権教育校内OJT</p>  <p>教頭による講義及びアクティビティの演習</p>	<p>QU活用研修会</p>  <p>県教員総合研修センター 校内研修サポート</p>	<p>生徒指導研修会</p>  <p>いじめアドバイザーを招いた事例検討会</p>
---	---	--	--	---

3 成果と課題

「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」という人権尊重の視点に立った授業づくりや様々な人権学習を通して、自尊感情の高まりや互いに認め合う気持ち、相手を思いやる気持ちを醸成することができた。今後も、学校の教育活動全体を通して、さらに人権に関する知的理解と人権感覚を高める取組を行っていく。また、「自分のよいところを知っている」の項目では、肯定的回答に伸びが見られたものの、まだまだ自尊感情が低い。「自己存在感」、「共感的人間関係」、「自己選択・自己決定」を意識した活動に、さらに継続的に取り組んでいく必要がある。